

石川町

議会だより

No. 216

令和5年 2月1日

発行/石川町議会

編集/広報常任委員会



2022

12月定例会

P2 12月定例会 審議結果

P4 紙上中継
(予算審査特別委員会)

P5 12月定例会 一般質問
(町政をただす)

P15 あれからどうなった?
(一般質問のその後は)

P16 報告します議会活動

P17 議会モニターアンケート結果

12月
定例会

道の駅整備事業費の債務負担 行為など全議案を可決

令和4年12月定例会は、12月1日から9日までの9日間の会期で開かれ、条例案件7件、補正予算8件、人事案件1件の合計16件を審議しました。また、一般会計補正予算（第5号）に対する修正動議が提出されました。

一般質問には、9人の議員が登壇し、町政を問いました。また、26人の傍聴がありました。

一般会計補正予算 の修正動議が2件 提出される

議案第74号令和4年度石川町一般会計補正予算（第5号）に対し、渡辺実議員と藤島一浩議員から認定こども園関係経費を除く修正案、下山田和雄議員と瀬谷京子議員から道の駅整備事業関係経費を除く修正案の動議2件が提出され、2件とも賛成少数により否決され、原案のとおり可決されました。

賛否の討論

【修正案の趣旨】

（認定こども園関係）
認定こども園建設予定地は、土砂災害防止法によるレッドゾーンとイエローゾーンに指定されており、土砂崩壊、転石落下の危険性など問題があります。

さらに、冬期は日陰となり、園庭利用が制限されることと、送迎車両による混雑が予想され、交通事故等も心配されることから修正案を提出します。
（渡辺 実）

（修正案に賛成者：藤島、下山田、渡辺、瀬谷（京））

【修正案の趣旨】

（道の駅関係）

現在の石川町の農産物の生産状況、加工品、特産品が少ない状況で、町民の多くからは道の駅整備に対して否定的な意見しか聞かえてきません。

また、先進事例の話を聞くと、道の駅成功の鍵は、平日の地元の利用にかかっているとされています。提案されている場所が、町の中心から遠い大橋地区にあり、日常的に利用するには不便なところがあります。道の駅整備に対する町民の関心が薄い状況では、債務負担行為の提案について、

同意できないことから反対をします。

（下山田和雄）

（修正案に賛成者：藤島、下山田、渡辺、瀬谷（京））

【原案に賛成】

町立認定こども園についてではありますが、平成元年に発生しました台風19号により、町立第二保育所が浸水の被害を受けました。一日も早い開園を待ち望んでいる保護者の方々がたくさんいます。計画されている場所には、心配事もありますが、あらゆる安全対策を講じた上で安心、安全を担保し、子供たちが安心して

議案 審議結果

議案番号	議案	審議結果	
議案 第66号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度石川町一般会計補正予算－第4号）	承認	全員
議案 第67号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	可決	全員
議案 第68号	石川町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案 第69号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	全員
議案 第70号	石川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案 第71号	石川町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案 第72号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案 第73号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案 第74号	令和4年度石川町一般会計補正予算（第5号）	可決	賛成多数
議案 第75号	令和4年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	全員
議案 第76号	令和4年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	全員
議案 第77号	令和4年度石川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	全員
議案 第78号	令和4年度石川町土地開発事業特別会計補正予算（第1号）	可決	全員
議案 第79号	令和4年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決	全員
議案 第80号	令和4年度石川町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	全員
議案 第81号	石川町農業委員会委員の任命について	同意	全員

今回の補正は、大部分が事業の確定に伴う事業費を減額した一方、認定こども園用地造成経費と

一般会計補正予算
（第5号）の主なもの

認定こども園の
用地造成経費可決

過ごせる場所をつくって
いただきたいと思います。
道の駅についてですが、
交流人口が増えること
により関係事業者の所得
向上につながり、町内商
街や温泉旅館などの集客
にもつながります。町内
外からの来町者を道の駅
に誘導することで、本町
の農業、商業、工業の振
興拠点として活性化させ
ることが期待できること
から原案に賛成します。
（原案に賛成：乾、菊池、
根本、瀬谷（寿）、小木、
増子、関根、矢内、近内）

して2億円、旧沢田小学
校敷地の利活用に係る経
費として3122万9千
円を増額したほか、原油
価格高騰に伴い公共施設
の燃料費、光熱水費を増
額したもので、歳入歳出
それぞれ2億8878万
4千円を増額し、既定予
算と合わせて、歳入歳出
予算の総額を86億803
1万7千円としたもので
す。

農業委員の任命



詳細については、
こちらから動画が
ご覧いただけます

石川町農業委員会
委員の欠員に伴い、
大串政一氏（大字北
山）を任命すること
に同意しました。



予算審査特別委員会

◆普通財産管理経費

(3141万4千円)

Q 町有地の処分において、今後も旧沢田小中学校のように構造物を撤去し、整地した上で処分するののか。

A 町有財産の種類や利用形態等により、処分の方法もケースバイケースとなり一律とはならないと考えています。

◆防犯事業経費

(17万5千円)

Q 防犯灯は、町内に何灯あるののか。

A 令和4年3月末現在、各行政区が維持管

理している防犯灯は1490灯、町が維持管理している防犯灯は203灯で、町内全体で1693灯です。

Q 現在大半の防犯灯は、行政区が電気料を負担している。LED化は町の負担でお願いしたい。

A 町は、平成25年より宝くじや商店街まちづくり事業などの補助事業を活用しながら防犯灯のLED化を図っています。

新たに防犯灯の設置を希望される場合や、行政区内のLED化されていない防犯灯については、行政区におい

て維持管理することを条件に、町が工事を行っていきます。

◆石川町立認定こども園用地造成工事費

(2億円)

Q 工事内容は。

A 敷地造成工、接続道路工、撤去処分工、準備工です。

Q 財源内訳は。

A 過疎対策事業債1億9千万円、一般財源1千万円です。

Q 南側斜面の転石対策は。



認定こども園建設予定地

A 敷地の一部が特別警戒区域にあたることから、高強度の落石防護柵を設置します。さらに転石にネットを張るなど、二重の対策で安全で安心して利用できる施設にします。

一般質問 町政をたただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたただすもので、定例会に限って行われます。今回は9名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。(質問の一部を割愛しています。) 詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧いただけます。

菊池美知男 議員

P6

- ◆高齢者福祉について
- ◆新型コロナウイルス感染症等への対応について
- ◆廃棄物の処分について※



根本 重泰 議員

P7

- ◆道の駅建設を進める上での疑問点について
- ◆観光物産協会の法人化について



下山田和雄 議員

P8

- ◆中心市街地の再生について
- ◆災害に強いまちづくりについて
- ◆総合運動公園等の整備について



乾 初美 議員

P9

- ◆町立認定こども園基本計画について

渡辺 実 議員

P10

- ◆令和5年度の重点課題について
- ◆石川バイパスを生かすまちづくりについて
- ◆老老介護、認認介護者への支援について



瀬谷 京子 議員

P11

- ◆定住促進を図る住宅政策について
- ◆今後の母畑レークサイドセンターの考え方について

瀬谷 寿一 議員

P12

- ◆本町の観光・交流・移住施策の推進について
- ◆町立認定こども園基本計画策定にあたっての民間幼児教育、保育施設との調整について



小木 芳郎 議員

P13

- ◆消防団組織等のあり方について
- ◆自主防災組織のあり方について

関根 信次 議員

P14

- ◆塩田町政2期目の重点課題について
- ◆農業の振興について





質問者の動画が見られます

Q 高齢になっても自宅に住み続けられる支援策は

A 介護予防や移動手段の確保を進めます



きくちみちお 議員
菊池美知男

◆高齢者福祉について

質問 いつまでも、自分の家に住み続ける生活環境を構築するため、また独居老人や高齢者世帯への町の支援について。

答弁 自立継続サポート事業や、住宅改修事業等を実施し、また外出できるための移動手段について、現在、各関係機関と検討を進めているところですが、また、独居の方に対する

る緊急通報システムや郵便局、宅配業者との地域包括連絡協定による地域の見守りを今後継続していきたいと考えています。

質問 介護予防（サロン）や公的介護の充実について。

答弁 交通手段のない高齢者でもサロン等に通うことの出来る移動手段の創出について、関係機関等で協議しながら検討を進めています。



12月1日から始まった買い物支援「ミニバス」の実証運行



サロンでボッチャを楽しむ高齢者

答弁 町内の指定された調剤薬局か、インターネットや電話での申し込みにより、自宅に届いた検査キットで各自で検査できるようにしています。

質問 コロナ禍、更には物価高騰に伴う経済支援策について。

答弁 様々な給付金事業を実施しています。

ます。また、個別の介護計画に基づき、事業者と連携をとり介護技術の向上やサービス内容の充実をお願いしていきたいと考えています。

質問 経済支援を行うにあたっての、窓口体制の明確化について。

答弁 これまで、町では相談窓口について特別な周知・広報を行っておらず、不明確な部分があったと認識しており、今後はつきり分かるよう努めていきます。

◆新型コロナウイルス感染症等への対応について

質問 無症状者や濃厚接触者の検査等の対応や、交通弱者が検査を受ける場合の対応について。



質問者の動画が見られます

Q 直売所でもよいという考えもあるが

A 地域活性化の起爆剤となる道の駅が必要です



ねもと しげやす
根本 重泰 議員

仕組み作りが、重要です

◆道の駅建設を進める上での疑問点について

質問 道の駅建設を選ぶ理由は。

答弁 石川町の強みを結び付けた施策の展開や拠点づくりが長年の課題でした。農産物の直売機能だけでなく、地域活性化の起爆剤となる拠点として「道の駅」を選択しました。

質問 公設民営により専門業者に運営を任せ

る理由は。

答弁 経営の知識を持たない事業者や自治体が運営することで、経営不振となり、自治体が赤字を補填している道の駅が多数存在しています。実績のある民間運営業者の知識・経験・自由な発想を導入することで、健全かつ効率的な道の駅の運営を目指し「公設民営」方式を採用します。

質問 石川町の事業者、個人が関われる仕組み作りは。

答弁 地域産業の振興を図ることを最優先した「業務要求水準」を



道の駅イメージ

町道の駅整備事業業務要求水準書に掲載）

質問 建設規模などは。

答弁 総事業費の抑制の観点から、2・4ヘクタールに縮小し、借地に変更しました。また、概算事業費は、社会経済情勢の変化により12億円に修正しました。財源は、過疎対策事業債や交付金等の活用で、町の実質負担額は3億2千万円程度と見込んでいます。

◆観光物産協会の法人化について

質問 観光物産協会の法人化はいつ。

答弁 令和5年度中の法人化を目指し取り組んでいます。

Q 中心市街地の再生について



質問者の動画が見られます

A 大型事業との整合性を図りながら、中心市街地の現状や課題を踏まえた実効性のある取り組みが必要と考えます



しもやまだかずお
下山田和雄 議員

◆ 中心市街地の再生について

質問 中心市街地の現状認識について。

答弁 住宅等の敷地が空き地化するなど深刻な状況にあります。

質問 空き地・空き家の活用方策について。

答弁 土地所有者等の意向調査により実態を把握し、専門的な知見を有する方や高校生など町の将来を担う若者の意見等も参酌しながら、中心市街地の活性化に

向けた空き地・空き家の活用方策について検討していきます。

質問 環境変化を踏まえた中心市街地の再生計画は。

答弁 石川駅周辺環境整備、まちなか散策

ルートの整備など、これまでに着手となっている事業について、まちなか再生委員会で

事業の実効性に関する検証作業等を行い、中心市街地の活性化に向け、現行のまちなか再

生行動計画に掲げた事業の推進に努めていきます。

意見 将来展望を描けるまち、魅力と機能を持った中心市街地を創造し、賑わいづくりを図っていただきたい。

◆ 災害に強いまちづくりについて

質問 台風19号の際に越水した区間等の嵩上げ対策を。

答弁 県の河川断面調査結果をもとに、県と連携し治水対策を検討していきます。

質問 北須川、今出川の堆砂除去の実施状況と今後の計画について。

答弁 北須川は、令和4年度は北町地内の古館橋から築石橋間と松木下地内で実施しており、令和5年度は築石橋から三芦橋付近と下

流域の松岡橋付近の堆砂除去を実施する予定であり、今出川については、現在検討していると伺っています。

◆ 総合運動公園等の整備について

質問 陸上競技場の整備についての考えは。

答弁 整備計画が全くない状況です。

質問 整備が困難な場合の代替え案はあるのか。

答弁 町にある施設を利用していく考えです。

意見 総合運動公園の整備が難しい場合は、すでに複合的利用が行われている石川中学校の校庭などを高校生や一般の方も使用できるよう整備をして、学校教育施設と社会体育施設の融合を図ることができないか。



空き地が目立つまちなか

Q 必要以上に大きなこども園は必要ないのでは



質問者の動画が見られます

A 保育士の意見を反映しながら、コンパクトな形での施設整備を考えています



いぬい はつみ
乾 初美 議員

実際に現場を見て、客観的に評価・意見ができるような組織を！

◆町立認定こども園基本計画について

質問 町立認定こども園の利用定員は、いつ頃決定するか。

答弁 子ども・子育て会議の中で意見をまとめた上で、令和6年夏以降に設定していきたいと考えています。

質問 定員に余裕がある民間保育施設があり、さらには利用定員を増

やせる民間保育施設がある中で、認可定員180名規模の町立認定こども園は不要であり、150名規模でも十分セーフティネットとして役割を果たせるのでは。

答弁 県の規定で1クラス30人以内ということになっていきますので、3歳以上を2クラスに設定するため、180人規模としました。

質問 新年度の募集前に出生数を考慮し、民間保育施設と利用定員について協議してはどうか。

答弁 毎年子ども・子育て会議の席上で、次年度の定員について決定する必要があると思えます。

質問 各保育施設の募集状況、利用状況、空き状況といった目安を公開すれば、入所申し

込みの参考になるのでは。

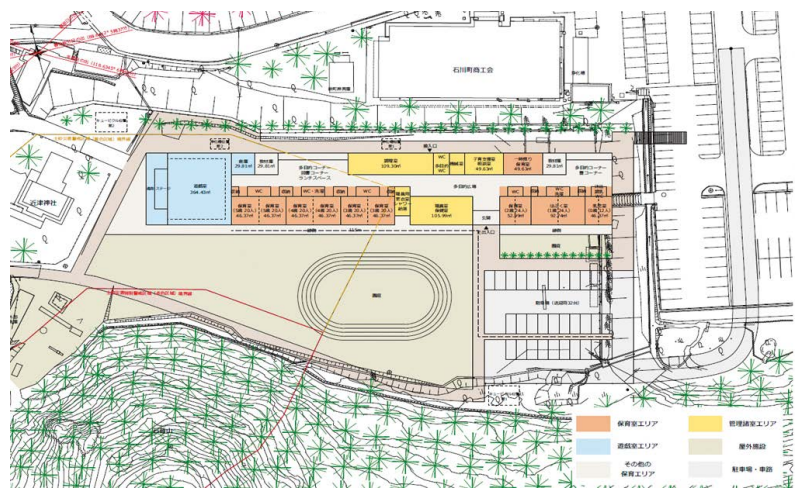
答弁 今後検討します。

質問 小規模保育所の利用者

は、卒園した3歳以降に入所できる保育施設を改めて探さなければならぬ。希望に応じて選べるということも踏まえて、連携できる施設を設定すれば利用者の安心感にもつながるのでは。

答弁 民間保育施設と協議し検討します。

質問 災害や感染症の流行で、保育サービスが困難となるのが今後とも予想される。町独



認定こども園イメージ図

自の保育士バンクを創設し、保育士派遣を行う考えは。

答弁 今後検討します。

質問 外部組織の設置について。

答弁 充実した運営になるよう第三者委員会を立ち上げていきたいと思います。



質問者の動画が見られます

Q 塩田町政、今後4年間の一番の課題は何か

A 人口減少対策で、若者定住のための住宅政策を行います



わたなべ みのる 議員

◆令和5年度の重点課題について

質問 まちづくりの重点課題は何か。

答弁 コロナ対策、人口減少対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の構築です。

質問 来年度の住宅政策の具体策は何か。

答弁 各地区で適地の調査を行います。

質問 人口減少の課題は何か。

答弁 今年1月から10月まで出生数は46名です。3年度は出生と死亡で190名減、転入

と転出で150名減と、自然減、社会減ともに課題になっています。

質問 企業誘致の取り組みについて、町長の考えは。

答弁 先頭になり対応します。

意見 道の駅にまちなかからバスを出すと答弁したが、まちなかが大変になるので十分な検討を。

◆石川バイパスを生かすまちづくりについて

質問 バイパスを生かしたまちづくりの考えは。

答弁 今後、検討します。

質問 バイパスとの連結道路及び周辺開発の考えを伺

う。
答弁 土地利用の可能性を検討します。

質問 交通量の変化は。

答弁 計画予測では、いわき石川線の台数が9600台、バイパスに5600台、まちなかに4000台です。



開通が待たれる石川バイパス

◆老老介護、認知介護者への支援について

質問 老老介護、認知介護の実態を伺う。

答弁 把握していません。

質問 厚労省は、老老介護者は介護者の59.7%と発表している。町の考えは。

答弁 まず情報の収集、把握が大事です。

質問 今後の支援は。

答弁 地域包括支援センターや民生委員、関係機関と連携し、見守りや支援の充実に努めます。

意見 介護サービス事業所ではヘルパーが不足しているので、町の対応をお願いしたい。



質問者の動画が見られます

Q 母畑レークサイドセンター 一帯の活用についての町長の考えは

A 広大で立派な施設です。有効活用にむけ模索しています



せや きょうこ
瀬谷 京子 議員

◆定住促進を図る住宅政策について

質問 定住促進の基本的な考えは。

答弁 人口減少対策として、若者向け住宅政策を進めていきたいと思えます。どこに整備すべきか令和5年度に各地区を調査していきたいと思えます。

質問 旧雇用促進住宅跡地の活用方針は。

答弁 売買契約の使用制限に従い若者世帯の住宅地とします。現在、地質調査を受け、周辺土地の調査、測量業務を行っており全体整備

構想の検討中です。

質問 今後の町営住宅の考え方は。

答弁 新たな整備は最小限に抑え、管理戸数が不足する場合は、空き家や民間の賃貸住宅など既存の住宅ストックを活用します。

質問 比較的新しい町営住宅の修繕は。

答弁 長寿命化策で修繕事業を行っています。令和3年度の修繕費は、約900万円です。

質問 移住定住促進の一環として、地域おこし協力隊を採用したが、ミッションは。

答弁 移住コーディネートターの形で移住希望者の相談、サポート、町の魅力発信、空き家バンクの活動支援等を行っていただきます。

質問 本町の住宅政策

は遅れていると思われる。「石川町住まいづくりプラン」は残り2年であるが今後は。
答弁 現計画を検証し、新たな課題に対応した計画への改定を予定しています。

◆母畑レークサイドセンターの今後の考え方について

質問 現状は。

答弁 施設は老朽化が著しく、最低限の修繕を行い管理に努めています。事務局組織の脆弱さが顕在化している、課題が山積しています。

質問 管理体制など運営方法の見直しは。

答弁 一歩踏み込んだ検討が必要です。

質問 サウンディング型市場調査による活用方法の検討結果は。

答弁 民間のアイディ

アで利活用するため令和3年度から実施していますが、今のところ提案事業者がいらない状況です。引き続きサウンディング型市場調査を実施していきます。

意見

唯一の総合レジャー施設の位置づけで、木立や花々、遊歩道、湖など好環境にあるが管理がなされず荒れている。スポーツ、オートキャンプ等に多く利用されている。

利用促進とコストを考慮した管理等、方向性の検討を。



母畑レークサイドセンターグラウンド



質問者の動画が見られます

Q 観光庁の「第2のふるさと」事業に取り組む考えはあるか

A 取り組む必要があると考えています



せや としかず 議員
瀬谷 寿一

◆本町の観光・交流・移住政策の推進について

質問 本町の宿泊能力（1400人）を活かす合宿等の受入れ推進について。

答弁 観光物産協会が主体となって、旅行者や宿泊施設と連携して進めたいと思います。

質問 狛犬の観光活用は、本家本元の石川町としては弱いのではないか。

答弁 新歴史民俗資料館に小松寅吉・小林和平のコーナーを設け、狛犬などの作品を紹介していきます。

質問 毎日、町内二つの高校に千人が通学している。県立高校を絶対に残さなければならぬ。存続のためには、全县全国から募集できる新学科が必要だ。

答弁 新しい学科については検討します。

質問 首都圏からの交流・関係人口の状況は。

答弁 東京石川会の会員は80名、石川町フアンクラブ会員67名、ふるさと納税83名、荒川区とは、交流が縮小しています。

質問 交流人口の取り組みが弱い。

答弁 道の駅基本計画では、立ち寄り客を年間50万人としている。実現を。

質問 道の駅基本計画で謳っているとおり、50万人を目標に誘客に努めていきます。

質問 施策の複合的な取り組みを。

答弁 町では、移住・定住促進と合わせて交流人口、関係人口の創出に力を入れていきます。

◆認定こども園整備計画について

質問 今年度生まれる子どもは47人と予想されている。今、急がな

ければならないのは、小中学校の在り方を含めた町の教育ビジョンではないか。

答弁 小学校6年、中学校3年で教育課程をしっかりとやるのが基本だと思っています。

質問 定員150人で運営ができないのか。

答弁 コロナの時代であり、余裕のある形（180人）で保育できることが必要だと考えています。

意見 働きやすい子ども園のために、保育士の意見の反映が必要。運営面では、専門家などによる第三者機関の提言を受け、これまで石川町が培ってきた官民共存の教育体制の充実を図ってほしい。



里山の中にある石川町

令和5年2月1日発行

※「第2のふるさと」事業：コロナ禍により意識が変化し密を避け、自然環境に触れる旅へのニーズ等が高まっており、特に、大都市の若者たちが田舎に憧れを抱いています。こうした新しい動きを捉え「第2のふるさと」として、「何度も地域に通う旅、帰る旅」というスタイルを推進・定着させ、地域経済の活性化に繋げようとする観光庁の事業。

Q 消防団組織の課題は



質問者の動画が見られます

A 若年層の入団と団員確保です



おぎ よしろう
小木 芳郎 議員

◆消防団組織等のあり方について

質問 本町消防団組織の現状について。

答弁 令和4年4月1日現在、団員数は、426名、6分団、29部体制で組織され、各分団とも欠員が生じています。

質問 組織の課題は。

答弁 町外への勤務や就業形態も影響し、火災等の出動人員が少ないなど、団員の確保が課題となっています。

質問 老朽化する消防施設の整備計画は。

答弁 昭和50年代建築の屯所が13あり、必要に応じて修繕と改修を行い維持管理していきます。

質問 消防団の処遇改善について。

答弁 令和4年4月から年額報酬の引上げと出動手当の見直しを行いました。

質問 町内の消防団協力事業所について。

答弁 事業所からの協力が得られるように、企業訪問などの活動

を検討しています。

意見 町民の生命と財産を守るため、活動する団員の存在は重要である。特段の配慮をお願いする。

◆自主防災組織のあり方について

質問 結成状況と今後の見通しについて。

答弁 今年度末には17行政区において組織化される見通しです。令和7年度末までに28の行政区で組織化を目指します。

質問 安全に活動を行うための負傷や損害に対する補償内容は。

答弁 平常時の活動での負傷は、日本消防協会の共済に加入し、対応しています。災害時において

では、現在、情報収集を行っています。



板橋沢古屋地区防火水槽の様子

質問 自主防災組織のリーダー育成について。

答弁 防災ワークショップの実施や避難所開設訓練、救助訓練などに取り組んでいきます。また、リーダー研修会の参加、防災士の資格取得に対する支援などを検討していきます。

意見 火災や災害は、あつてはならない事だが、万が一に備え町民の生命、財産を守る体制の構築をお願いする。

消防団山橋分団第3部屯所の様子



Q 令和5年度の重視すべき施策は



質問者の動画が見られます

A 人口減少を食い止めるため、子育て支援策と併せて、仕事や住まいの充実を図っていきます



せきね しんじ 議員
関根 信次

◆塩田町政2期目の重点課題について

質問 人口減少問題で、町長が考える主な要因は。

答弁 少子化と転出超過が主な要因であり、少子化の背景は、未婚化や晩婚化の進行が主な要因です。また、転出超過の背景には、高校卒業後の進学や就職などにより、一旦町を離れると、戻ってこないことがあると考えています。

質問 人口減少対策について。
答弁 国の長期ビジョン

ンに準拠した「希望出生率1・8」の実現に向け、結婚、妊娠、出産、子育て環境を整備しながら、各課横断的な取り組みを進めていきます。

質問 雇用の場の確保を図るための企業誘致の促進について。

答弁 県や県企業誘致推進協議会との連絡を密にし、情報収集を図りながら、引き続き企業誘致を推進していきます。

質問 町内での新たな工業団地の可能性について。

答弁 本町では、現に売却可能な工業用地を有していないため、現実的には積極

的な誘致活動が難しい状況ですが、企業立地の動向、意向をつかんだ後に、用地を取得して、その企業の要望に沿って造成をしている自治体もあるので、参考にしながら検討していきます。



新たな工業団地が必要である（写真：藤沢工業団地）

◆農業の振興について

質問 米価が低迷している中、稲作農家の経営安定に向けた取り組みについて。

答弁 国の交付金等を活用し、非主食用米の作付け拡大を推進するとともに、畑作物や園芸作物への作付け転換を推進するなど、稲作農家の経営安定に向けた取り組みを進めていきます。

質問 町独自の肥料高騰対策について。

答弁 国や県及び他の市町村の動向を注視しながら、対策に努めていきたいと考えています。

意見 米価が下落し、さらに肥料高騰で採算が合わない。持続的に農業経営ができるよう支援を望む。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

石川町道の駅は 地域活性化の拠点

●なぜ道の駅を整備するの

●農畜産物や加工品などの販売のほか、来場者を町内の宿泊施設や商店、飲食店に誘導するための情報発信や町内外交流人口の増加など、幅広い分野で地域活性化への効果が期待できることから、その拠点となる道の駅を整備します。

●建設費用と将来的な町



直売所イメージ

●の負担は

●建設費用は約12億円で、町の負担は、約3億2千万円です。また、運営事業者からの納付金で建設費用の町負担分を

県立石川高校の存続 と、魅力化事業の 取組みについて

●現在の状況は。

回収する計画です。建設後は清掃など維持管理費は毎年かかりますが、民間事業者が運営することにより町が赤字補填することはなくなります。

●福島県教育委員会が昨年公表した県立高等学校改革後期実施計画において、石川高校は地元からの入学者割合が高いことから1学年1学級規模の「本校」として、また「地域協働推進校」として、今後存続する予定としています。

●今後のスケジュールは

●令和4年度中に運営事業者を選定し、令和5年度には道の駅に出荷を希望する方への説明会を実施して出荷者協議会を設置する予定です。建設については、令和6年度から造成や建築工事に着手し、令和7年度中の開業を目指していきます。

●魅力化事業の内容は。

●今年度から、石川高校に魅力化コーディネーター1名を配置し、高校魅力化計画の策定や総合的な探求の時間のカリ



いしかわMOTTAINAIアクション



リンゴどら焼き
(産品開発)

キュラムづくり、先進校視察や全国小規模校サミットへの参加、MOTTAINAIアクションによる産品開発やドローンの操作技術習得など、石川高校の魅力化を更に推進する事業に取り組んでいます。

報告します 議会の活動

各種団体との意見交換会を開催しました

石川町議会では、町民の議会参加をより一層促進するとともに、町民の皆さんからの意見や提言をいただくため、11月16日に各種団体との意見交換会を開催しました。

議員だけでは気付かない視点でのご意見などもたくさんいただき、充実した意見交換となりました。意見交換会で出された意見、要望等は、町政に反映できるよう政策形成に努めていきます。

各自治センター事務長

主な意見

- 自治センターの活動に参加したい高齢者のためには、移動手段の確保が必要。町にも介入してもらい、送迎の問題を解決していきたい。
- 各団体の存続のため、もっと、若者に興味を持ってもらいたい。SNSを活用した、若者への情報発信を進めていきたい。
- 石川町の自然を生かした、石川町らしい移住策を進めて、人口増に努めてほしい。



消防団各分団幹部

主な意見

- 新入団員が激減し、消防団が存続していけるのか心配。勧誘も頑張っているが成果にはつながらない。団員の確保が一番の問題。
- OBによる自主組織が設立される動きが出てきて助かっている。
- 屯所、防火水槽について、現在の状況を確認し、整備を進めてほしい。
- 安全装備品の充実を検討してほしい。

石川地区の商店主(後継者)

主な意見

- 個人商店ごとの広告宣伝だけでなく、町か商工会に問合せ窓口を作って、利用者の希望に合わせた商店を紹介する方法を検討してほしい。
- まちなか再生のため、まちなかにこそ「まちの駅」があったほうがいい。
- 高校が2校もあるので、学生のための町づくり、学生が将来戻ってきたくなる町づくりを進めていったらどうか。



石川町議会だより第214号 (令和4年6月号) 議会モニターアンケート結果



詳細は、こちらから
ご覧いただけます。

石川町議会だよりをより読みやすく、町民の皆様に親しんでいただける広報紙にするため、議会モニターの皆さんに議会だより第214号 (令和4年6月号) のアンケートを実施しました。その結果の一部をご報告させていただきます。

問1

議会だよりは年4回発行していますが、これまで、どの程度の頻度でお読みになりましたか。

- 一町民として町議会で審議された様々な情報が掲載されていることから、常に関心を持ちながら読むようにしている。
- 構成が1パターン化されていて、目を通すくらいで読まない時もある。

問2

6月定例会号の「表紙」(P1)について、どう感じましたか。

- 議会だよりという書体や背景画像が読みたいという気持ちにならない。
- 住民がいつも主役で写っており、その時々々の石川町の様子が窺い知ることができる。
- 地域の方々の生き生きとした表情、飾り気のないそのままの姿が大変良かった。

問3

6月定例会号の「審議結果」(P2~3)の記事は読みやすかったですか。

- 文字が多いため、読む気になれない。
- 読んでもわからないので素通りしてしまう。
- 国民健康保険税額がいくらになったのはわかるが、保険料がどうして決まるのか解説が欲しい。

問4

6月定例会号の「紙上中継」(P4)の記事は読みやすかったですか。

- 身近な内容として必要な情報だと思う。
- 一般町民の意見を記事にしてはどうか。
- 予算総額も明記されていて、わかりやすい内容だった。
- 写真を多く使用するのは、見て何のことかすぐわかるので良い。
- 紙上中継の編集方針(意図)がわからない。

問5

6月定例会号の「一般質問」(P5~12)の記事は読みやすかったですか。

- 議員の方や答弁をした方に対して、その後どのようなになったか報告をお願いしたい。
- 興味ある内容を探るのが大変である。
- 質問に対し、答弁が明確でない。答えていない。この点を質問者が追及したかどうか不明であり疑問が残る。
- インデックスがあると、より読みたい内容にすぐたどり着ける。

問6

6月定例会号の「あれからどうなった? 一般質問のその後」(P13)の記事は読みやすかったですか。

- いつも楽しみにしています。町民に分かりやすくフィードバックしてあげるべき。
- 執行部側のスタンスで述べられているが、議会側がどのように確認したか、という目線での表記であるべきと思う。
- 実行されていない場合(遅れている)の追求に大いに期待したい。

問7

6月定例会号の「未来に向かって」(P14)の記事は読みやすかったですか。

- 高校生だけではなく、中学生にも「町に望むこと」などをインタビューしてはどうか。
- 子供が載ると必ず保護者は読むと思う。
- 若い方の記事は、どんどん入れてほしい。
- 石川町の若者(中・高生)が、議会に興味を持つためにも、また、頑張っている子の励みになる素晴らしいページだと思う。

問8

その他

- 議員の活動内容も報告してもらいたい。
- 各自治会との意見交換会をしてもらいたい。
- 町民目線の議会だより。
- 町の人口が急激に減少しているため、活力あるまちづくりに向けた対策等の特集を載せてほしい。
- 町民のインタビューなど、町民参加できるともっと良いのでは。

未来に向かつて ・ 高校生の声

県立石川高校

3年 松本

心優^{みゆ}

私の夢



私には叶えたい夢があります。それは美容師になる夢です。私が県立石川高等学校に入学した理由は、いしかわWORK&LIFE教育があり、選択科目の中にキャリアアチャレンジがあったからです。石川町と協力して町内の企業で実習を行い、働くことの意義や職業適性など、社会人としてのマナーを学ぶこと

ができる体験型授業が魅力的でした。キャリアアチャレンジでは、希望していたユキ美容室で実習することができました。実習先はまず掃き掃除や窓拭き・タオルの洗濯などをを行い、店内を清潔にしてお客様を迎える準備をしました。美容師の方々の手伝いをしたり、お客様とおしゃべりをしたりすること



ユキ美容室での実習

が楽しかったです。お客様の来られない時間には、美容師の方々からヘアアレンジを教えてくださいいただき、非常に勉強になりました。4月からは郡山の美容学校に進学しますが、そこでは技術を競う大会があります。私は積極的に参加して自分の腕を磨き、自分の叶えたい夢に向かつて、頑張りたいと思います。

編集後記

今日為すことを一月後の利害を以て為す
今月為すことを一年後の利害を以て為す
今年為すことを十年後の利害を以て為す
その未来が胸中にある者これを青年という
しっかり未来を見つめて行動したいものです。
植木枝盛
瀬谷寿一

議会を
傍聴しませんか
3月定例会「一般質問」は
3月6日(月)の
予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。



議会広報 常任委員会

委員長 菊池美知男
副委員長 乾 初美
委員 藤島 一浩
委員 根本 重泰
委員 瀬谷 寿一
委員 増子美知夫

